



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月14日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 紘一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 木通 昌生 (TEL) 099-273-3859
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	10,768	5.8	630	△8.5	709	△5.6	362	△8.1
28年3月期第3四半期	10,177	12.7	689	9.7	752	9.1	394	3.0

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 391百万円(△2.7%) 28年3月期第3四半期 402百万円(5.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	77.11	—
28年3月期第3四半期	83.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	13,014	6,188	47.6
28年3月期	11,281	5,839	51.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 6,188百万円 28年3月期 5,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,433	7.0	664	26.4	670	9.1	310	17.7	65.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	4,746,000株	28年3月期	4,746,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	40,889株	28年3月期	40,889株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	4,705,111株	28年3月期3Q	4,705,111株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ、「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策や雇用・所得情勢の改善等を背景に、緩やかな景気回復基調と見られるものの、年初から円高の進行や株式市場の停滞により景気回復に対する下振れ懸念もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループを取り巻く環境は、主原料（魚粉・小麦粉・大豆等）の価格は高止まりで推移しているほか、消費者の生活防衛意識から低価格志向は根強く、企業間の価格競争が続く厳しい環境で推移しました。

このような環境の下、当社グループは市場動向を見極めながら積極的な販売活動を展開するとともに、売上成長を模索しながら原価や経費抑制に自助努力し、利益水準の維持・向上に取り組んでまいりました。

一方、事業領域の拡充や販路拡大など攻めの体制を推し進めるなか、平成28年7月に株式会社なかしま（富山県南砺市）を子会社化いたしました。なお、同社は、第2四半期連結会計期間末（平成28年9月30日）を支配獲得日とみなして処理していることに伴い、同社の業績は当第3四半期連結会計期間から連結業績に含めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は107億68百万円と前年同期と比べ5億91百万円（5.8%）の増収、営業利益は6億30百万円と前年同期と比べ58百万円（8.5%）の減益、経常利益は7億9百万円と前年同期と比べ42百万円（5.6%）の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億62百万円と前年同期と比べ31百万円（8.1%）の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①水産事業

水産事業におきましては、主原料調達先である中南米の輸入魚粉マーケットは、中国や欧州の需要が多く堅調であることから高値基調を維持しており、今後の原料相場見通しは需給バランス次第という見方が強く不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、エビ飼料類は、台風の影響が懸念されたものの養殖生産への影響は少なく販売は順調に推移し前年同期を上回りました。ハマチ飼料類は、受託生産販売の減少で前年同期を下回りましたが、マダイ飼料類、ヒラメ飼料類及び雑魚飼料類は、新規開拓やシェア拡大が図られたことにより前年同期を上回りました。

子会社のマリンテック株式会社（愛知県田原市）の水産種苗の生産販売及び永屋水産株式会社（東京都中央区）の養魚用飼料の販売も順調に推移し前年同期を上回りました。

その結果、売上高は74億97百万円と前年同期と比べ3億95百万円（5.6%）の増収となりました。セグメント利益は7億19百万円と前年同期と比べ31百万円（4.6%）の増益となりました。

②食品事業

食品事業におきましては、雇用・所得環境の改善が進んでいるものの、個人消費は生活防衛意識の高まりとともに、企業間の価格競争が続く厳しい事業環境で推移しました。

このような状況のなか、皿うどん類は、取扱店の販路拡大やシリーズ化商品を発売するなどしたほか、カップ類（五穀スープ、カップ皿うどん）、棒状ラーメンが順調に推移し前年同期を上回りました。即席めん類及びうどん類及びそうめん類は、PB商品（販売店独自の商品）等の減少から前年同期を下回りました。

子会社のコスモ食品株式会社（東京都大田区）のカレールー商品等の生産販売は順調に推移し前年同期を上回り、株式会社向井珍味堂（大阪市平野区）のきな粉及び香辛調味料等の生産販売は、前年同期並みに推移しました。

また、平成28年7月に株式会社なかしまを子会社化いたしました。なお、同社の業績は当第3四半期連結会計期間から連結業績に含めております。

その結果、売上高は32億71百万円と前年同期と比べ1億96百万円（6.4%）の増収となりました。セグメント利益は2億49百万円と前年同期と比べ50百万円（16.9%）の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ17億33百万円増加し、130億14百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が14億83百万円、機械装置及び運搬具が1億32百万円、のれんが1億22百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ13億84百万円増加し、68億26百万円となりました。これは、主として買掛金が5億97百万円、短期借入金が3億99百万円、長期借入金が3億39百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ3億49百万円増加し、61億88百万円となりました。これは、主として利益剰余金が3億20百万円、その他有価証券評価差額金が26百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月17日開示の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結累計期間において、株式会社なかしまの発行済株式の全てを取得したことに伴い子会社となったため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,906,823	1,969,595
受取手形及び売掛金	1,503,081	2,987,078
商品及び製品	521,577	493,318
仕掛品	100,040	137,928
原材料及び貯蔵品	1,257,751	1,055,422
その他	152,412	137,896
貸倒引当金	△13,272	△14,548
流動資産合計	5,428,414	6,766,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,351,450	1,391,899
機械装置及び運搬具(純額)	655,821	788,621
土地	2,046,363	2,097,087
その他(純額)	244,302	296,117
有形固定資産合計	4,297,937	4,573,726
無形固定資産		
のれん	410,689	533,634
その他	52,871	45,594
無形固定資産合計	463,560	579,229
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,131,831	1,135,831
貸倒引当金	△40,482	△40,774
投資その他の資産合計	1,091,348	1,095,057
固定資産合計	5,852,847	6,248,012
資産合計	11,281,262	13,014,703

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	639,526	1,236,697
短期借入金	1,785,231	2,184,552
未払法人税等	153,851	196,334
賞与引当金	122,330	63,142
その他	430,865	457,107
流動負債合計	3,131,804	4,137,834
固定負債		
長期借入金	1,555,146	1,894,520
役員退職慰労引当金	431,265	443,519
退職給付に係る負債	74,719	76,954
その他	248,932	273,188
固定負債合計	2,310,064	2,688,182
負債合計	5,441,868	6,826,016
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	4,734,930	5,055,375
自己株式	△28,968	△28,968
株主資本合計	5,768,261	6,088,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,737	99,980
繰延ヘッジ損益	△2,606	—
その他の包括利益累計額合計	71,131	99,980
純資産合計	5,839,393	6,188,687
負債純資産合計	11,281,262	13,014,703

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	10,177,074	10,768,928
売上原価	7,949,552	8,441,299
売上総利益	2,227,521	2,327,628
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	309,898	333,671
貸倒引当金繰入額	6,311	737
給料及び賞与	400,222	424,688
賞与引当金繰入額	20,009	25,167
退職給付費用	14,865	14,160
役員退職慰労引当金繰入額	14,111	15,795
その他	772,979	882,684
販売費及び一般管理費合計	1,538,397	1,696,903
営業利益	689,124	630,725
営業外収益		
受取利息	622	1,248
受取配当金	4,784	4,516
為替差益	414	11,526
受取保険金	20,901	25,184
雑収入	57,379	53,362
営業外収益合計	84,102	95,837
営業外費用		
支払利息	16,598	14,523
雑損失	4,582	2,154
営業外費用合計	21,180	16,678
経常利益	752,046	709,884
特別利益		
投資有価証券売却益	18,165	—
特別利益合計	18,165	—
税金等調整前四半期純利益	770,211	709,884
法人税、住民税及び事業税	229,451	294,970
法人税等調整額	146,036	52,122
法人税等合計	375,487	347,093
四半期純利益	394,723	362,791
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	394,723	362,791

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	394,723	362,791
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,361	26,242
繰延ヘッジ損益	△2,705	2,606
その他の包括利益合計	7,655	28,848
四半期包括利益	402,379	391,640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	402,379	391,640
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	7,102,130	3,074,944	10,177,074	—	10,177,074
セグメント利益	687,835	300,089	987,924	△235,877	752,046

(注) 1 セグメント利益の調整額△235,877千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費235,155千円、営業外収益9,762千円、営業外費用10,485千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「水産事業」セグメントにおいて、奄美クルマエビ株式会社の全株式を取得したことにより、新たに連結の範囲に含めております。これよりのれんが367,746千円発生しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	7,497,620	3,271,308	10,768,928	—	10,768,928
セグメント利益	719,655	249,457	969,112	△259,228	709,884

(注) 1 セグメント利益の調整額△259,228千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費269,922千円、営業外収益19,819千円、営業外費用9,124千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「食品事業」セグメントにおいて、株式会社なかしまの全株式を取得したことにより、新たに連結の範囲に含めております。これよりのれんが190,170千円発生しております。